

# 河川

河川事業(10水系:新宮川水系、紀の川水系、大和川水系、淀川水系、加古川水系、揖保川水系、円山川水系、由良川水系、北川水系、九頭竜川水系)  
 建設ダム事業(3箇所:大戸川ダム、足羽川ダム、九頭竜川上流ダム再生)  
 地すべり対策事業(1箇所:亀の瀬地区)  
 砂防事業(4箇所:六甲山系、木津川水系、九頭竜川水系、紀伊山系)  
 海岸事業(1箇所:東播海岸)

## 国民の安全・安心の確保

### 治水対策～災害防止のための水害・土砂災害対策を重点的に実施～

近年大きな災害があった地域において、緊急的な対策を実施することで再度災害を防止します。また、事前の防災対策を加速し、地域の安全・安心を確保します。

#### ■中郷遊水地整備事業 ■高津町地区河道掘削事業 ■足羽川ダム建設事業 ■大戸川ダム建設事業



#### ■加古川中流部緊急治水対策事業



#### ■阪神なんば線淀川橋梁架替



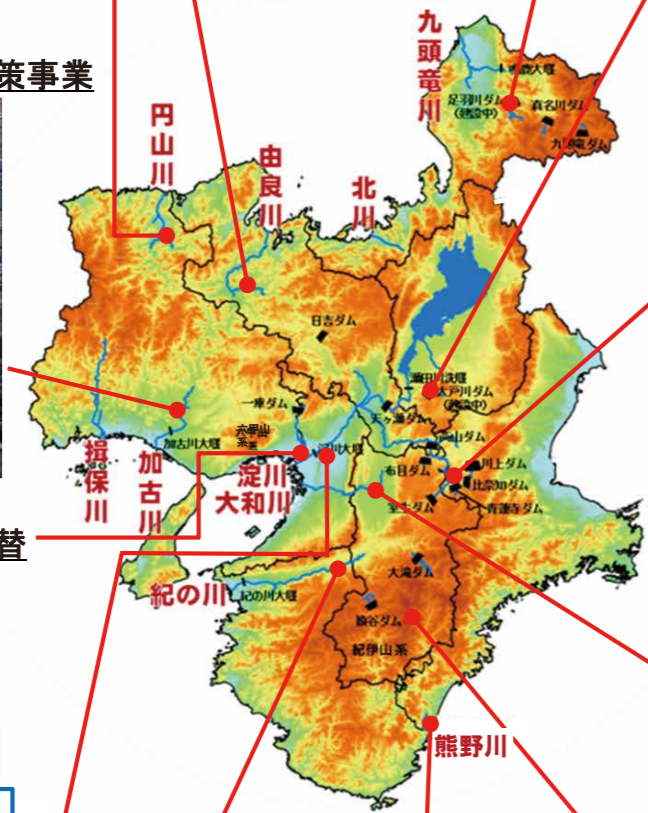
#### ■淀川大堰閘門整備事業



#### ■藤崎狭窄部対策事業



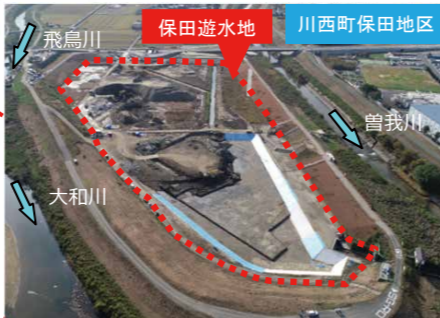
#### ■成川・池田地区河道掘削事業 ■紀伊山系直轄砂防事業



#### ■名張かわまちづくり型浸水対策事業



#### ■大和川流域治水整備事業 (R3年度特定都市河川指定)



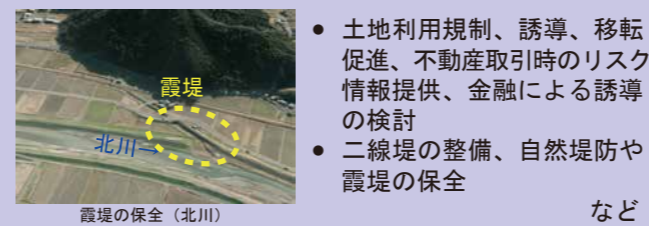
## 流域治水の推進

気候変動の影響による災害の頻発化・激甚化に対応するため、抜本的な治水対策として、集水域と河川区域のみならず、氾濫域も含めて一つの流域として捉え、地域の特性に応じ、あらゆる関係者と協働して、ハード・ソフトの両面から「流域治水」を推進していきます。



「流域治水」の対策イメージ

#### ■被害対象を減少させるための対策



霞堤の保全 (北川)

- 土地利用規制、誘導、移転促進、不動産取引時のリスク情報提供、金融による誘導の検討
- 二線堤の整備、自然堤防や霞堤の保全

など

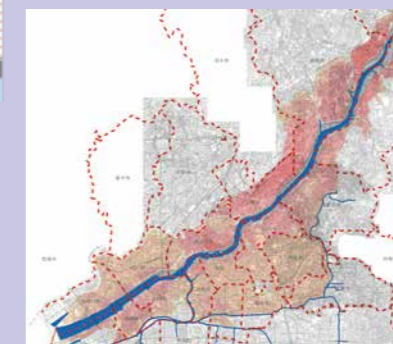
#### ■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策



遊水地整備 (大和川)

- 雨水貯留浸透施設の整備
- ため池の治水利用
- 治水ダムの建設・再生
- 利水ダム等の事前放流
- 土地利用と一体となった遊水機能の向上
- 河道掘削、堤防整備、遊水地、砂防堰堤、雨水排水施設等の整備
- 「粘り強い堤防」を目指した堤防強化など

#### ■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策



淀川洪水浸水想定区域図 (想定最大規模)

- 水害リスク情報の空白地帯解消、多段階水害リスク情報の発信
- 長期予測の技術開発、リアルタイム浸水・決壊把握
- 工場や建築物の浸水対策、BCPの策定
- 土地利用規制、誘導、移転促進、不動産取引時のリスク情報提供、金融による誘導の検討
- 官民連携によるTEC-FORCEの体制強化
- 排水門等の整備、排水強化

など

## グリーンインフラの取組の推進

河川が有する多様な機能(生物の生息・生育・繁殖環境の場の提供、良好な景観形成、気温上昇の抑制等)の活用を推進します。

2030年ネイチャーポジティブの実現

気候変動対策

「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくり

交流・コミュニティ形成、健康増進

自然環境を生かした地域活性化・観光振興



整備した湿地にやってくるコウノトリ

河川空間を活用したかわまちづくり

グリーンインフラの取り組みが解決に貢献する社会課題

## 住民自らの行動に結びつく水害・土砂災害情報の共有・発信

「逃げ遅れゼロ」を目指し、地域住民の皆さんに、水害リスクを認識し、積極的に自らの避難行動を考えてもらえるよう情報を発信するとともにマイ防災マップやマイ・タイムラインの作成支援を行っています。



ワークショップの様子



マイ・タイムラインの検討ツール「逃げキッド」

## UAV等を活用した河川管理の高度化

河川巡視に UAV を活用することによって、河川管理の高度化と省力化を図ります。接近しにくい箇所や危険な箇所も丁寧に点検・監視することで、河川空間や施設の安全を確保します。



ドローンによる遊水池内の巡視状況

事務所内でのモニタリング状況